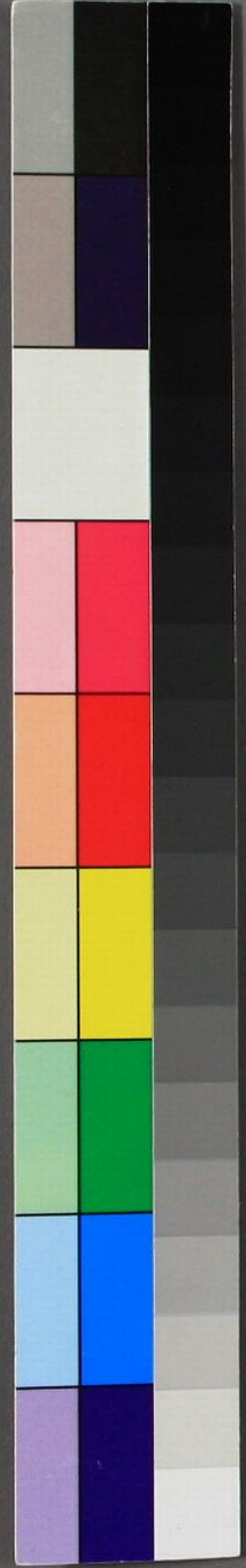


狂言演劇本年代順目錄單

特別
イ4
3159
A58



14
3159
A58



狂言演劇本年表

漆山天童編



狂言記

画工不記名

(吉田風)

大本
五卷

寛文三壬寅^{西村又右衛門新板刊}
寺町^{誓願寺前}

繪狂言記

由題狂言卷

半紙本
二卷
土回
五半

寛文五己年三月日
板木源左衛門開板

花傳抄

八卷

寛文五年己九月吉日
廿下之

狂言盡

(師宣画)

大本 一册

延寶三年

古今後者物語

延寶五年

能訓蒙圖彙

横本 一册

貞享三年九月刊

画工不記名

京都田中庄兵衛

能之訓蒙圖彙

三卷

貞享四年初夏
伊勢屋七郎兵衛

能之衣裳付

画工不記名

枕本 二卷 十九回

元禄御稿已ノ霜月吉
堀川海鏡共
葉屋又右衛門
同ノ之
敦賀屋三郎兵衛

序。元禄御稿已ノ霜月吉日

雨夜三盃機嫌

(源三郎画)

半紙本 二卷 三十三

枕本 夕顔宿直

序。于時元禄六若水日浸筆於賀茂川流木留卷瘦年
跋。元禄癸酉春二月之吉少嗜堂布川跋
本言水本龍之助、萩野右馬之丞、小の首像をある

似顔

芝居百人一首

大本一卷 五十一

(元禄六年酉年)

(鳥居清信画)

古今四場居色競序性密軒四泥子序之
色競出 此作卷四友在始之
古今四場居色競百人一首後序
此の序のありの趣月しりたに味縁中下の紙巻不
即ち之をて紙巻遊楽行に之を

能之圖式

画工不記名 (吉田風)

半紙本 六卷 六十七丁

元禄十丁丑曆八月吉日
京新河通下米若所
谷口梅花堂
外二名

舞樂拾遺大成

半紙本 七卷 八十一丁

○本書画の舞甚く能道具一同して、本文は謡曲の音譜附あり

舞樂彙葉大全

半紙本 六卷 九十一丁

元禄十丁戌卯五月吉日
大坂本所一所目
萬屋彦太郎板

狂言記

外五十番

五卷

元禄十二年五月刊
野田孫兵衛
外二名

續狂言記

秋本 五卷 二十五回

元禄十三年九月
江戸山形屋吉兵衛板

能之訓蒙圖彙

三卷 十九丁

元禄拾四己八月吉日
大坂本所一所目
横林萬屋彦太郎
賣出し須原屋為兵衛

舞樂秘曲

未紙本 二卷 六十六丁

正徳五乙未五月吉祥日

画工不記名

○布基揮画、舞臺、同能道具、能面、七左衛門板、京新所道下長若所上、

○布基揮画、舞臺、同能道具、能面、七左衛門板、

詮操り年代記

半紙本 二卷 四丁

享保十二の北、春、表、

関板人、作者、子、同、

序 署名不

○圖書、録、目録、今昔、操、年代記、とせり

狂言記拾遺

横本 五卷

享保十五年十二月

京都野田福兵衛板

(一)

流風 傾國能言

○布基、京都、菱屋、治兵衛、板、の、別、あり

横本 一卷 五丁

享保四乙亥年

画工不記名

桐子子 笑和州正

故、享、保、と、一、秀、隆、存

市川團十郎進喜 父の恩

大布 二卷 彩色又七十個 三十五丁

享保十五庚戌年正月

右六十六葉 英一蜂画

市川才牛撰

一葺岩五舟採画

朱印 三十四回 彩色入

享保十庚戌春 浪卷 舊徳誌

跋 難波の 舊前 詞 葉 日 徳

江都 行 輯 染 安 叟 正

○布基 俳句 新仙 等 大 部 分 を 文 せ り

○布基 明譽 入 室 覚 然 存

二月十九日 俗名 古市川團十郎

二記 一 個 あり

○天章 曰く 彩色 摺 の 版 中 本 書 トリ 古 々 の 多 々 あり

又曰く 観 の 落 款 は 小 川 破 笠 即 ち 卯 観 子 歟

新古今後者大全

六卷 八丁

寛延三年三月

画工不明名

寛延三年庚午三月廿五日
書古く大令後、寛延庚午春南圭梅花額を人撰

撰者 八文字端笑

新板 江戸後者道之記

二卷 十三丁

寶曆五年庚霜月

古同 四

舞鶴庵萬興述

東都本屋又八板

序。于時寶曆五乙亥年初冬去辰待乳之下此遺史馬殿齋漫書

撰者 一 墨付六十二丁

寶曆十年三月再取

能訓蒙圖彙

画工不記名

板元 菅七右衛門
常也 須原屋茂吉撰

歌舞妓事始

五卷 十七丁

寶曆十二年午二月

画工不記名

(為永一蝶著)

八文字屋八右衛門板

寶曆十二年馬陽亭雪堂自笑。授合秋月白露
目錄 歌舞妓事始、物真如狂之漫語、室町殿奥行政実、歌舞妓之序、
兼大鼓起、附三條弁喜、唐傳名代、七箇園所矣、島芝居主、女舞之變、
江戸芝居本末、大坂芝居名代、并芝居失食梅、
大坂淨瑠璃撰名代、并芝居主

後者今文字摺

一卷 十一丁

書梓 星輝筆

序 今口半大の述
〇〇〇〇〇〇の強し。凡例、川、何人の作き、其の末、
〇〇〇〇の秋布部の旅、又曰く、世に能く、
〇〇〇〇の、又曰く、世に能く、
〇〇〇〇の、又曰く、世に能く、

繪本舞臺扇

大并 彩色入 二卷 五十三

明和七年寅年

勝川春章画

三十四半 一冊

神田紺屋 遠後松五郎

文調画

一冊

一冊

書肆 雁金屋伊兵衛

書文壺中之首。攝陽西雀孫東雀

繪本扇 好美乃伴徳

繪本扇 好美乃伴徳

繪本扇 好美乃伴徳

仲祇徳

明和七宮友毒

板元 雁金屋伊兵衛

三芝居年代記

蔓鶴 一巻

画工不記名

序 阿那駝教人放言

日本書紀 次の名手 藤と同并

明和七年庚寅九月廿日
神田銀治屋二目
菊岡吉右衛門板

後者名聲牒

菅藪 一巻

明和七年庚寅九月廿日

序 阿那駝教人放言

○画ハ譽觀と云ふ芝居見物をまつて芝居ハ一生ハ神田銀治屋二目

新刺後者綱目

湖上笠翁編次

明和八年辛卯正月吉日

序 阿那駝教人放言

改訂 阿那駝教人放言

後者簡

菅藪 一巻

明和八年辛卯秋

○画ハ譽觀と云ふ芝居見物をまつて芝居ハ一生ハ神田銀治屋二目

東叢 菅藪 一巻

後者名物袖日記

菅藪 五巻

明和八年辛卯正月吉日

菅藪 一巻

菅藪 一巻

世後者穿鬢論

甚翁在 一冊 一回 (安永六)

画工不記名

叙。安永六の此夏既陽大田菴撰。是の五代園十の月備し

繪本續舞臺扇

大本 二卷 二十二年

安永七戌戌年三月

画工 高橋其計

叙。安永七年以成青陽家一印水逸民述

菊屋安兵衛

○布衣の多附居らるる前編より後編まで、京大坂後者を画とせり

瀬川菊之丞菊の家彫

肉草 三ツ形茶 一卷 四回 三丁半

路考画

波静戲作 安永八年三月吉日 波静門人山江述

○あり 貝つくし、菅浦刀、松、酒屋の山僧雪中のまきとこの回角と

役者手鑑

半紙 一巻 初終三丁 彩色

安永八年乙亥三月

湖沼の画

十六丁 湖邊の画

東都書肆 伏見屋善藏

神代榻昧論

三ツ形 一巻 一回 半紙

十六兵衛自画

于時安永九年庚子早月下旬

本名十六兵衛

役者夏の富士

半紙 一巻 十丁

板元 奥村原六

画工 勝川春章

作 通笑

板元 奥村原六

序 通笑

序 庚子冬 徳川春章

彫刻 森若三郎

○布書 役者の素顔と書きしもの、為し夏の富士と題せり

○庚子は安永九年也

似歌

翠釜亭戲画譜

大正 一卷 薄墨入 三十四十三字 (天明二壬寅年)

壬寅春三月 京畿名優團 正較堂珍蔵

藏珍堂較正
(序) 戲域黠仙 (跋) 孫仰老承法公 (醉鄉老頑漫書)
跋 佐真朱玄默 跋 吟嚆子題 真葛散人書
。繪ハ葉基廟も若らぬもの

世話歌舞妓の華

小本 一卷 丁

天明二年

画工不記名
序。天明二壬寅初春 作者 容楊黛

中山一代狂言記

半紙本 一卷 半丁

雪圭齋画 天明二壬寅冬十月 作者 浪華芦陰軒
序 尾阴不二本氏某 序 武昌無點居士題
跋 天明二年冬卯 仲村聖日 平安巨通道人書之

。畫ハ中山文七の肖像也
。本世又中山一代狂言録と号せり

梅幸集

俳句

附録ハ 半紙本 二卷 二冊 二丁

天明四年辰二月

江府坂東新水画

京板元八文字屋八右衛門

了以 四甲辰二月 花洛 不担 唇五 雪藏 (割信帳 二斗 後著)
序。了以少りしとのうろしり 卯春 浪華 二斗 卷下 物語
跋 八文字屋 八右衛門 書 此 体 あり
画工不記名 一冊 京田 氏 之 録 あり ぬ の こと 懐 刻 する ぬ の こと
おのゝよりし 此 こと 懐 刻 を ひき ぬ の こと

江戸客氣團十郎具足

半一巻 三丁

筆清書

画工不記名 十六回

天明九年己酉春 桃栗山人柿發齋述

画本行潦

半紙本 三卷 三十一丁

浪華 流光齋圖

寛政三年戊午秋發行
心社橋筋北久太郎
塩屋忠兵衛

序。畔川子士

眠獅選

半二卷 一回半

画工不記名

(眠獅風小六の肖像) 八文字自笑者 寛政二年庚戌三月

羽

期三畫圖繪

半一巻 十丁

画工蘭德齋

喜三二作

序。成陽つゆり光 寛政三年庚戌の春前喜三二道蛇樓主人 跋 天△

夷、年 後者 齋 顔見世

半紙本

画工不記名

序。中、やうふるすりりこの三つのと 作者自在坊

芝居見物右衛門品定

一巻

寛政三年庚戌三月

東都 勝春好画

御江戸鮎鰯

半一巻 二回丁

寛政四丁年

画工不記名

桃栗山人柿發齋集述

上徳庵利兵衛

序。慶長部真意序の叙寛政三年庚戌の抄即月山東車傳

繪本花苜蓿

半紙本 三卷 三十一丁

寛政六年寅二月

浪華画工流光齋

大政 塩屋長兵衛 序。当时後者似類

似類

今様俄選

半紙 四卷 七回

天一上辰のし

魯道馬

千里數虎珍蔵

玉の光

半紙 二卷 一回

寛政八年辰五月

画工不記名

八文字屋八右衛門

過去物語

半紙 三卷 十回

寛政九年丁巳月

耳鳥齋画

浪花北江市三洲 綿屋若兵衛

桐の島甚

半紙 二卷 四回

寛政九年乙酉月

浪華飛溪画

八文字屋八右衛門

寛政九年丁巳年菊月桂齋藏

美満齋組入

半紙 一卷 十三

寛政九年乙酉月 愛度日

三代目清満 門弟鳥居清長

東紫園春潮画

書肆 上徳屋利兵衛

春好在筆

元祖鳥居清信画

二代目鳥居清信画

勝九徳林春英画

邦易祇画賛

嵩淋應求

歌川善国画

作者談州樓馬馬

序 鳥馬 跋 四方歌 垣真顔 能句 小 年 あり

江戶三卷 見物丸赤門跡追 半紙本 一卷 寛政十年辛酉月
撰者八文舎自笑 八文字屋八右衛門板

似顔

似顔 俳優樂室室通 小本 一卷 極彩色 十九丁

畫工 門人 歌川國政 十丁

式亭三馬輯

寛政十一己未年 日印摺通四丁 上總屋忠島

口画 奇唐草 丁 序。寛政乙未年三月五日雪を眺望して式亭三馬後 跋 喧囉哩樓三馬跋

戲場樂屋圖會

大布 四卷 六十一丁

寛政十二年庚申年

画工 好松齋半兵衛 戲作 序。寛政庚申臘月玄黙山人誌

大坂心井摺通唐物所 河内屋太助蔵板

増補戲場一覽

(粗画) 半紙本 四卷

寛政十二年庚申八月

画工 不記名 作者 自笑

序。寛政十二年庚申八月 浪花八文字屋八右衛門撰 跋。寛政十二年魚燈りの初秋道歌振の隣を甘泉庵の主人山崎平兵衛

狸和尚勸化帳 化地蔵畧縁起 化競 丑満鐘

脚本 大布 三卷 四丁

寛政十二年庚申六月

画工 不記名 歌川風 八丁

繪女画 口画 丁

二布所 萬屋重三郎板

曲亭 馬琴 工夫直作

大布 一卷 三丁

寛政十二年庚申七月

三都 浪華 画工 流先齋如圭

撰者 八文舎自笑 浪華 八文字屋八右衛門撰

○序。中野の松屋春りの所より中野の松屋の主人上野の七右衛門 跋。甘泉道人跋。彫刻丹羽庄兵衛

新撰 戲子名所圖會 戲廂之局 半紙本 三卷 三十一

武江 一曲其龍馬琴撰

日序。宣政十二年庚申孟春撰於飯類山草堂曲其馬琴撰。皆已求霜月朝暮于洛陽之南垂柳深下山东子之身。江戸通油少鶴屋喜右衛門新鶴

寛政十五年庚申由卷三頁發行

似歌

寫真 俳優三階興 半紙本 二卷 三十一

東都畫人 歌川一陽齋豊國 東都市隱式其三馬著

寛政十三年丙午三月發行

芝敷寄居橋下通山下所 萬屋太次右衛門 東都本村本所十日 書林春松軒 西宮新六九梓

日序。維新宣政庚申の雨月日三階興の 後序。宣政辛酉春二月唯羅哩樓三馬二十日の曉より 市川雷丸 八十八石并年代をす

嵐雛助死乞山風

半紙本 三卷 三十四

享和元年酉三月

松好画

序。予は此道に在るは其居仙人は其序也 凡雛助の肖像

北坂江市之側

和多屋上兵衛 板 紀伊國屋善助

戲場節用集

大正一卷 十七丁

享和元年辛酉秋九月

画工竹原雪峯 作者好女舎青氏 序。千里其義序 浪華扇屋和助

俳優見手拍

半紙本 二卷 三十一

享和二年壬戌春

画工浪華江南 松好齋半兵衛 序 浪華五且吟

大坂心形橋通北本町 塩屋長兵衛板

似歌

三 戲 俳優世二相

半紙本 一卷 三十一

享和二年戊寅月發行

歌川豊國繪画 東子熊客戲造 戲子世二相 顯顔鏡叙 戲子相和生代 啓事春應不所之人之需 餘台曲亭子

三

繪本戲場年中鑑

半紙本 三卷 廿四冊

享和三癸亥歲正月朔

歌川豊國畫 管竹里撰
序。在正月大旦。新書堂主人リ

板元 通徳所 廣松屋重三印

八代三長

樂屋岡會拾遺

大正二卷 半紙本

享和三壬戌年辰秋

画工 杉好齋半兵衛戲作
序。大伴大江彦

大坂心井物通北久太所 塩屋長吉内蔵板

戲場畫史

水之部 大正二卷 半紙本

享和三辛亥三月

流光齋如圭画
序。後久澤月江布白丹儀

大坂心井 盛香金開板

東都俳優觴

小本一冊 十三回 彩色

享和三辛亥春

豊國画

序。于時享和三亥五

板元 本名所 堀野仁兵衛 本銀所 播磨屋重三

戲場訓蒙圖彙

半紙本 八卷五冊 五十五丁

京和三歲次癸亥春開雕

畫人 七冊全 櫻九德齋勝川春英
一陽齋歌川豊國

江戸本名所 西宮大助 一名

文客 俗戲堂式亭三馬

叙 習籍堂主人 叙 疾のまゝりを二代目風亭之世
政 胆歌堂 四才真顔 奇劇 晴雪堂 後歩内刀

文化三丙寅年十月求板 江戸堀江六軒の上徳忠助蔵板

戲場三座例遺誌

前編 小本一卷 半紙本

維時享和三癸亥青陽

画工不記名

曲 廬菴主人著

江戸本銀所 四丁目 尾張屋忠輔

繪入戲場言葉草

脚本 半紙本 五卷 十三丁

浪華画工 杉好齋著
序 癸亥孟春 五旦 吟速

心井物通屋物所南又 河内屋大島

似款

風傾國誌言
画

繪本
卷五

役者此手嘉志和

半紙布二卷 極彩文 十七丁

(享和三)

歌川豊国画

烏高馬鳥述

東都書肆園壽堂梓

序。享和癸未より長東都滑穂作者三川淡河樓鳥鳥述

竹波久作屋

(魚踊)

半紙布一卷 彩文 四丁

(享和三)

東竹羅字

享和三癸卯より竹波久作屋鳥鳥述

奈起 備後尾道 庚辰秋中

日序久利波無鳥鳥平、伊賀屋鳥鳥久。跋、干時昭陽大園盧相日

似歌

三都草の種

大本 一卷 口画彩色又 三十三丁半

文化元年甲子中元日

画工流光齋如圭

作者八文舍自笑

浪達書店 八文舍門

叙。甲子より春舟主人。序。文化元年より(子)の中元日流光齋川士述

俳優相貌鏡

狂歌又 大本 一卷 極彩文 十丁半

歌川豊国画

淺州市人著

京都書肆園壽堂 山田屋三四丁

序。去山。跋。享和四年甲子年五月某日某日

三都

後者用文章直指箱

大本 二卷 九丁半

享和四年甲子正月

画師流光齋如圭

輯者八文舍自笑

浪華 八文舍門持

序。享和三癸卯年仲冬八文舍自笑子需江戶東京傳記

紫 江戸且郎負鉢巻

半紙本一冊 三丁

下(文化八年)

清長草、豊国画、春高画、

日序、三川淡河樓鳥鳥述、跋、干時昭陽大園盧相日

酒宴 舞式より稽古 初編 枕巾 二卷 二十丁 文化十年

即興 画工 柳田夫の古斗の三笑 犯人 作者ク

三都 万須可 万美 乾之卷 一卷 十丁

松好齋 序。文化十一年

市川市紅 一河 流齋 二卷 一冊

流光齋 如圭 附之。文化十一年

画作 宇多川 国曆 二卷 十丁

後跋 文化十一年 春二月 名府市 隱一 奥書 書述之

澤村 一巻 三十丁

做老師 歌川 豊春之 團 又五渡亭 團貞 江戸馬喰町三月角 西村 其八 梓

撰者 歌下 中波 静 技合 淡州 橋島 馬 白之 序。文化十一年 春二月 浪日 波静 撰者 序。東都 借稿 作者 立川 淡州 橋島 馬 述 首 賀亭 二 親 彦 成 述 後 柳 三 亭 述

江都 年代記 半紙巾 九卷 十冊 百丁 撰作 淡州 橋島 馬 序 昌山

文化八年 春末 年 發見 天保十二年 丑年 求 取 江戸 丁 予 屋 忠 七 外 五 名

東名 残門 出 錦 袖 (詳判) 一巻 二十丁

歌川 豊國 画 三 文 舍 自 休 著 述 序 言 文 化 十 年 壬 申 秋 九 月 三 文 舍 自 休 述 仙 鶴 堂 梓 東 永 堂

中村秋左衛門 **錦画** (評對) 七卷 調
古心 一巻の
画工不記名 作者八文全印実

文化九年十月發行
心齋堂
河内倉太助

酒宴舞心より稽古 初編

文化十年酉の夏

補増 後者用文音年

山一巻 十三丁

文化十四年四月

哥唐門久秀唐画 曲亭馬次作
序。井川徳逸墨人書 序。表金隠在
若作書之入識

東都書肆
中村倉幸藏

成の年俄選

半紙本 五巻 口画彩色
十一丁半

文化十年甲戌六月

画工不記名 九丁半 此路夏書馬園画
序。松茸

一峰齋同丁
心齋堂

序 浪能外序

山一巻 二冊 六丁

文化十年甲戌五月

狂画堂 芦洲暮 濱松歌國編輯
序。浪筆のひんりーに任市人述
口布生 芦洲の外

浪筆文金里河内倉太助

松年同字 序。たんま 狂画 百七画

雅稱 調續 瑠寛帖

七巻

狂画堂 夫画 春の面画 芦幸画

毒公写 芦舟画 曉鐘成著

序。文化十一年ぬてふ 継承後市丸

四天王大坂入

小本 一卷 三十一

文化十二年乙未秋九月朔

歌川豊国画 三文舎自休著

江户由所 鶴屋金助外名

芝翫節用百戲通

小本 一卷 三十一

文化十二年乙未八月朔

浪速 狂畫堂 蘆洲畫 同慶院半曉鐘成編

振陽本 森本太助

序。茲宵文化十二年女月望日市角養丸人誌

踊獨稽古

小本 一卷 三十一

葛飾北齋画編 藤間新三郎補正

文化十二年歲次乙未夏

後者似顔早稽古

小本 一卷 三十一

文化十四

豊国画畫

東都直由所 鶴屋喜右衛門上梓

序。文化十四のりし。繪月のり。巻十五を九後

似顔

歌舞妓雜談

小本 一卷 六十一

文化十五年戊寅三月

獨醉舎國直畫 百戲園芝翫著

○市人物多いげい子云 歌川勝之助画

江户通由所 鶴屋喜右衛門 日下由所 録金助

○口上 寅三月十日 國芝翫述 後叙 以寅三月上 夜望文系

以代美満封

小本 一卷 十九回

文政元戊寅年十月

大和画元祖圖 鳥居清元筆 國貞画二編(五渡亭國貞画) 武清筆

注柳山 春亭画二編 大和画 秋經筆 戴一筆

清倍筆 國丸縮番 一系 國丸筆 國安画 豊国画

追善 東都滑稽古 立川 後海梅 鳥馬述

○五世市川道 延十三回 延福

繪本舞臺扇

六本 三卷

文政三年己卯五月

勝川春章画 文調画 浪速狂画 畫 蘆洲畫

浪速慢戲畫 曉鐘成編 大改心持繪通屋之助

序書文志中之首 攝陽西雀 孫東雀 河内内太助

畫 基扇 妙美之津穂 小本心持繪 塩屋長之助

○市井昭和七年の再版あり 文政二年己卯晚秋發

芝翫百人一首玉文庫

六本 一卷 日画彩色又 四十二丁

根都曉鐘成戲編 並二画 心持繪 鹽屋物所 河内内太助

序。文政九丁と二と七のりり秋末つ日 抄書奉勅成

江戸紫調子頭巾

小本 二卷 彩色又 十七丁

五渡真國負画 岩井紫若撰 五柳亭徳林撰 文政六

序。文政六年二月岩井紫若 跋。鹽屋清澄

入三芝居後者細見

本 一卷 彩色又 十一丁

江戸画師五渡真國負 撰者五柳亭徳林 文政九年丙戌四月

序。文政九年丙戌春二月去辰五柳亭徳林撰述 元司河内内太助

○市書堂十年再版あり 山本屋後島

舞舞樂圖

本 一卷 彩色又 二十丁

以上三十九回在方舞 文政六年撰 五月融齋源子春画 御書物師出雲重富五郎

序。文政六年冬霜月高島子春 文政十一年戊子五月看色

俳優夏法富士

本 二卷 彩色又

五渡真國負画 山東慶宗山積 文政十一年子之冬

跋。書肆欽白

似歌

文政十二
且初身 三都俳優水滸傳 大本 二卷 彩色又

文政二年乙丑宗室春
著跋

画工五渡其國貞 作者五柳其德林
序。于時文政十二年己丑春五柳其德林或述

通也
鶴屋喜右衛門

戲場一觀頭微鏡 上快 二卷 再 彩色又

文政十三庚寅年孟春開市

肖像東都香檮樓歌川國貞画 黙 漢隱著

江戸通也

序。于時文政十二年己丑年仲冬吉辰

鶴屋喜右衛門

同 下快

半紙布 三卷 再 彩色又

文政十四辛卯年孟春開市

繪一狂言記

枕布 五卷 廿四回

画工不記名 吉田風

天保二年補刊

跋。元福十二年己卯霜月吉日

江戸卯北二十日
執筆頭辰三郎
心井 柳原 喜右衛門

役者三國志

半紙布 三卷 彩色又

柳齋重春画回 花笠外史填詞

天保辛卯孟陽新鐫
文金堂 藏

序 天保二年辛卯二月 花笠外史

善 瀬川ほろし 瀬川五代家譜 半卷

香蝶樓國貞画 五十丁半 一勇齋國芳画 三

北溪 霞舫 琴通舍英賀撰

通也
鶴屋喜右衛門

五世瀬川菊之丞天保三年六月七日みまか

中村芝阮 返咲浪花の裡梅 小本 一卷 彩色
吾妻土產

歌川國貞画 鳥亭鳥馬著
白序 立川鳥馬

右のりさしむさう 市村彦 小本 二冊 彩色
河原崎屋

香蝶樓國貞画 立川鳥馬撰

俳優時人傳 初編 半紙 四卷 彩色
十九丁半

香蝶樓國貞画 著述 立川鳥馬
白序。天保四丁一 初巻在都作着立川鳥馬述

妙返註録 小本 二卷 彩色
三丁

五渡亭國貞画 江戸鳥亭主人著
白序 菊月鳥亭主人

百部限絶板 堅不許賣買

天保四己冬新刊 江戸鳥亭所三自
西村彦共八

天保四己年春新刊 森屋治兵衛
山口屋後兵衛

天保四己年春 馬喰町三自
山口屋後兵衛 外二名

天保四己年春 小善齋蔵
天保四己年春 森屋治兵衛

後者必讀妙々痴談 小本 二卷 彩色
三丁

画工不明 (國貞風) 江戸 三芝居士口授
玉虹菴人編次

後者妙々後夜の夢 小本 二卷 彩色
五丁

痴譚餘篇序 天保癸巳重九 西國邊人題
江戸三芝居士編次

三芝居細見 森田彦 小本 一卷 彩色
五丁半

香蝶樓國貞画 天保五年春
森屋治兵衛 山口屋後兵衛

中村芝阮 妙々戲談 小本 二卷 彩色
七丁

画工不明 (形好高川人) 作者南地萬金樂戲編 河内治兵衛
白叙。甲午の春の沛ゆるきと形好高川人地喜久人治 外二名

俳優三十六花撰

六本 一卷 彩箋

天保六乙未年正月發行

香檮樓歌川國貞画 七丁

文榮堂上梓

序 天保六年未三月柳亭種彦祀跋 司馬園主人

芝居三葉州

中村彦

本三卷 彩箋

天保七年丙申春

香檮樓國貞画 立川島馬撰

森屋治兵衛 梓
山口屋長兵衛

序 立川島馬述

梅玉餘響

半紙 三卷 二十丁

天保九

柳齋重春画 三丁 洞通 丁 公雨 丁 猿竹竺画 三 梅山 三

序 天保九年戊戌臘月齋齋藏
日之序 天保九年戊戌十二月廿七 藤竹三謹識

浪花書鋪

群玉堂刊行

菅原傳授手習鑑

脚不 本 三卷 十丁

弘化三丙午年

一立齋廣重画 竹田出雲作

日布松原戸物
三河屋吉兵衛板

高師直繪本忠臣蔵

脚不 小本 三卷 十丁

塩屋利實 画圖一立齋廣重筆

東都菊野園發行

。布世出板年月之原るは之 同種類有るは手習鑑の次也也

吉例 曾我 寶入船

小本 一冊 十丁

弘化三年春

鳥居清種筆

序 弘化三年

有豊堂書好

繪一拾遺狂言記 枕本五卷 二十丁

畫工不明 元禄十三年己卯霜月書

文化未詳判 戲場年中鏡 小冊一冊 三丁

画工不明 (歌川風) 序開中。以申初年去辰 詳者戲場真々好述

無範三財圖會 (滑稽) 大冊三卷六冊 三丁

編者曉鐘成弟繪画 浪礼河内屋平七板 序。文政四年次重光葉落世躬日東都百多案高真鑰納之盛撰

跋。幻花怯史張也 跋。文政八年八月二十日 序。嘉永三庚戌二月 撰。隆成徳

○市五通
生蘭一
にして劇
ありし
西際

嘉永元年戊申七月

江戸源世二丁目
新橋三丁目
心掛橋長三丁目
四番橋長三丁目
柳原長三丁目

俳優見立五十三次 小冊二卷 極彩多 二十丁

豊國先生 (後編序文) 序。嘉永五年壬午年 幕。い女を以て天 後編序。壬子仲秋 幕。不冷 幕。長久我 撰述

露時雨八代徳抄 小冊二卷 三冊 極彩多 六丁

一梅道人画 鳥有山人 三界行者編 序。甲寅秋。三界行者題

御狂言樂屋本説 初編 小冊二卷 極彩多 二十六丁 (安政六壬未年)

梅蝶樓國貞画 一英齋芳艷画 三亭春馬別書 南信了所書目 書。原。吉。蔵。板

同 二編 三丁

一蘭齋國綱画 三亭春馬別書

二三 序。下。若。者。書。了。序。市。世。出。校。年。月。而。後。行。以。し。初。編。の。次。に。出。し。つ。

○市川七世
年目之及

小倉鯉鱗行家撰

一勇齋國芳画
序。一筆筆更徒

小本 一卷 極彩色
十八寸

曉齋能画圖式

画工河鍋洞都 又 醒々狂齋筆

小本 二卷 彩色
二十九寸

慶應丁卯新刻

序 冨田氏

出版人 淺草橋本町七番地
小林文七

○以下出板
年目之及

市川七世狂言年代記

鳥居清長画類 春英画類 春英以勝川春とく画

小本 一卷 五寸

画工不明 三寸半 談洲樓撰

序 東都滑稽作者三川談洲樓鳥居述
跋 四方歌垣主人吉野
○圖十郎七世婿孫とて子

市川評判圖會

豐丸画 (青楊上草履付)

小本 甚弱紙本 一卷 四寸三寸
二寸彩色

白帝。未此むつ中月春海とて丸徳
○卷末に二とく之の如く青楊上草履とて意を笑話を附あり

画不戲場選

画工不記名

香附 半紙本 五冊

一五〇・三三

六一九〇、二八四

狂言 繪本繁華湊 番附 半紙本 五冊
画工不記名

大塚正邦繪所角
山本屋清兵衛版

六一九〇、二八三

繪本むりー鏡 番附 半紙本 五冊
百六十九丁

六一九〇、二七

繪本龍虎勢 番附 半紙本 五冊

大塚正慶繪所通四丁目南側
志月也善兵衛板

女小學平治見喜

五段續、番附 半紙本 一卷 九丁
座布 豊竹氏名
太夫 若吉氏
太夫 次太夫

似表

顔見世舞臺錦

半紙本 一卷 彩色文 六丁

寅乃冬 膳川春章画

似顔画

花傳書

(申樂)

大本 八卷

画工不記名

○本世花傳書あり
○一、二巻 九丁、十丁、十一丁

戲場節用集

大本 一卷 十九丁半

画工不記名

(日宮雪出風)

序。千里亭、若草、市川、常盤、
○大塚正邦、本世、五丁、六丁、七丁、八丁、九丁、十丁、十一丁、十二丁、十三丁、十四丁、十五丁、十六丁、十七丁、十八丁、十九丁、二十丁、二十一丁、二十二丁、二十三丁、二十四丁、二十五丁、二十六丁、二十七丁、二十八丁、二十九丁、三十丁、三十一丁、三十二丁、三十三丁、三十四丁、三十五丁、三十六丁、三十七丁、三十八丁、三十九丁、四十丁、四十一丁、四十二丁、四十三丁、四十四丁、四十五丁、四十六丁、四十七丁、四十八丁、四十九丁、五十丁、五十一丁、五十二丁、五十三丁、五十四丁、五十五丁、五十六丁、五十七丁、五十八丁、五十九丁、六十丁、六十一丁、六十二丁、六十三丁、六十四丁、六十五丁、六十六丁、六十七丁、六十八丁、六十九丁、七十丁、七十一丁、七十二丁、七十三丁、七十四丁、七十五丁、七十六丁、七十七丁、七十八丁、七十九丁、八十丁、八十一丁、八十二丁、八十三丁、八十四丁、八十五丁、八十六丁、八十七丁、八十八丁、八十九丁、九十丁、九十一丁、九十二丁、九十三丁、九十四丁、九十五丁、九十六丁、九十七丁、九十八丁、九十九丁、百丁

戲場漫録

国貞画

黙、淡隠著

○本世戲場一観、顔、微、鏡、と、同、本、子

江戸馬場所、二十目
菊屋幸三郎板

文政十三年
の春、照

享和元年の
春、照

國華繁榮集 番附 半紙本 五卷

牙一卷 安永九年 和言本七部 彦布芳沢のり付 三十五丁

牙二卷 天明元世年 十部 二丁半

牙三卷 天明二寅年 十部 彦布芳沢のり付 早十一丁

牙四卷 天明三卯年 十部 彦布芳沢のり付 早十一丁

牙五卷 天明四辰年 十部 彦布芳沢のり付 早十一丁

序 彦布芳沢のり付 五とせ 彦布芳沢のり付 書肆問月堂誌

海嶺嶺富貴中浪花番獅子

島居清秀画 彦布芳沢のり付

市源校

彦布國華繁榮集 一巻中 六切り和作子 附あり

古今噺三種 番附 半紙本 五卷

画工不記名

。強ひ普通の書附ありて紙あり

大段順慶所通四丁目 塩屋善兵衛

似款

津三 百人一首 卷競 俳優銘之傳 初編 半紙本 一巻 総巻又 廿回五丁

画工不記名 (梅村樓國貞か)

彦布芳沢のり付 彦布芳沢のり付 彦布芳沢のり付 彦布芳沢のり付 彦布芳沢のり付

新大改雜書(中本) 山本 一巻 一丁半

画工不記名

常陸帶小夜中山鐘由来 九段續 香附 半紙一巻 二冊

夜啼石 香附
画工不明
行和館收據

四座後者繪畫

古山師重画
。古山師の師宣畫後より

六二〇六二四六 芝居諸藝題名 香附 半紙一巻 表紙彩色文

画工不明 (繼画)
。布衣芝居外題、座本を袖ぶるより、布衣

増補新東名鑑 評判 小巻 半紙一巻

画工不明
。布衣後者を乃より、評判より

(正徳小文化操人形番附) 半紙一冊

大功艶書合 三半 座本竹下節作 板元 心井 和泉 小善 共
信州お六櫛 三半 座本竹下節作 板元 心井 和泉 小善 共
國性節合戦 三半 座本竹下節作 板元 心井 和泉 小善 共

忍女房係分子綱 半紙
けりせい及魂香 半紙

菅原傳授守留鑑 三半 座本竹下節作

世話仕立唐繡針 三半 座本竹下節作
善光寺御堂供養 号 安永九座子胃月 板本 山 和泉 小善 共

色揃身振操 号 板本 山 和泉 小善 共
國性節合戦 三半 座本竹下節作

。若しつ水、若成のあつた彩色文
大坂市重富町何れ
泉屋印作板

素人芝居附立帳

小本一卷五回

春英画 一冊 江戸南仙笑楚滿人歌著

序狂洞多藝場人述
跋京都御所繪師者三川淡河梅馬島述
○春英の五八回十中七七婿嫁四十三丁の書

三都能優水辭傳 五國貝双紙 才三編 小本一冊

画工歌川國貞 南北作

直由
西上
如

○三都能優水辭傳 五國貝双紙
○朝倉文 大都能優水辭傳 五國貝双紙
○大久保文

世五

り作

園十郎七世高橋

小本一卷四回

鳥居清長画 春英画 勝川春英

画工石川 序 京都御所繪師者三川淡河梅馬島述
跋 四方歌垣真人

露之端 瀬川仙女追善集

半紙本 二卷 十丁

鳥居清長草 豊國草 豊陽丸山 遊女子代きく

栄之画 衣鉢 怡生 北馬画 静高 五高

秋野草 昇亭北斎画 桂浦 源輝
北林草 春英画 瀬川仙女追善集跋 四方歌垣真顔

あごや山三 狂言の
序列入

横本一冊 七テ

能楽図彙

横本三卷

風流照葉狂言

初編 半紙本 一巻 只五折紙

梅川東舉画

○大段出版書目録三 風流照葉狂言集

鷲雀死出比旅立

板元後徳長衛、安政二年五月出版、同二集

保川春貞画

一夜榮急作著

作若湯淺治三郎板元後長、安政二年七月出版

増補の巻

後者合鏡

歌川豊国画

俳優茶話 初編

大本三巻 六テ

落合惠齋画回

朧月亭有人補綴

中九高徳中虫原

東郡書肆 文鏡 巻

後者名寄

甚弱本一巻 二回

無味中画

茶再小巻

序西春南都橋井門

目録

一後者宗子宗子宗子の宗子一一定紋、裏紋俳名宗子

寛瑠歌舞妓實録

小本一帖 口直彩紙

常信

○市田の甚古くは娘一人物の実録也傳也

文魁堂

補遺

台帳及
汝記評林

半紙本二冊

元祿十三年

華英軒菊水著
序。勇已重風吹

江戸四座役者評判記

枕本一冊

師五複製

役者穿鑿論

けいせいの流波山

一冊

享保年間(拾年款)

画工の心 志を伝

京都八文字を包八左衛門

○都萬冬文を想を奉。取元の口上書より元元深川菊之丞
二の替り江戸上り大谷廣次大とありり存くはむすか
き江戸風よかたしと云。主人は首を斬る者左衛門
上総柳ヶ崎市吾八、忠僕次下島木を伴り替りり

